

編集委員のおすすめ新着図書



『ぼくたちはどう老いるか』 高橋 源一郎/著

朝日新聞出版 (2026年)



72歳になった著者が、さまざまな角度から老いについて書かれた書物を読み解きながら、自分自身のこれからについて考えてみるという本です。鶴見俊輔の『もうろく帖』で鶴見自身が書き残した老いとの格闘について、ハルノ宵子『隆明だもの』に描かれた家族と、老いていく父吉本

隆明の関係を、有吉佐和子『恍惚の人』で描かれる老いの姿を、耕治人の絶筆『天井から降る悲しい音』に私小説作家自身が書き残した老いを、これらを著者自身の体験を入れながら考察したあとで、最後に特別編として谷川俊太郎と弟の死に直面して考えたことが書かれています。通して読むと「老い」と「死」が不可分であることを実感させる構成になっています。作品そのものを読んだことがなくても伝わるように書かれていますが、その作品自体も読んでみたくになります。(村上)

『死ぬのも楽しみ』 和田 秀樹/著

廣済堂出版 (2025年)

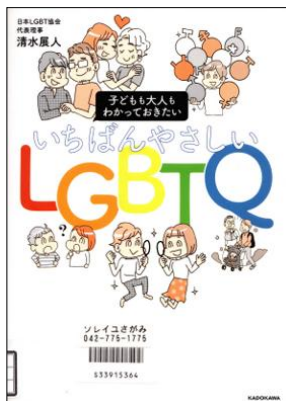


本書で繰り返される基本は「人間は早かれ、遅かれ必ず死ぬ」ということです。それなら今をどう生きるかという事になります。命は不確かです。健康とは、病気のない状態だと健康にこだわる程生活の自由度もなくなります。でも死んだ時が自分の寿命、残り時間を計算する

する必要はないのです。老いても固定されない、開放的な人間関係を作っていける人は幅広い世代と屈託なく付き合えるメリットがあります。老いを忘れて毎日を楽しむためにも、人に頼ることを恥としない生き方をして、気付かない内にやがて来る自分の死を素直に受け入れる心の準備をしてほしいのです。毎日を幸せに過ごしてそのゴールが死と考えれば楽しみ of 終着点なのです。精神科医である著者の「いい人生だった」と最後に思えるように心の在り方を説いた本です。(永富)



今号のおすすめ テーマ <多様性を考える>



『いちばんやさしい LGBTQ』

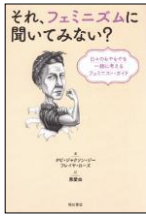
清水 展人/著  
 KADOKAWA (2023年)



『大人になってわかったディスレクシア』

盛島 あ〜ペ/著  
 幻冬舎 (2017年)

## その他の新着図書



『それ、フェミニズムに聞いてみない?』  
ダビ・ジャクソン・ジョー  
フレイヤ・ローズ/著  
明石書店 (2024年)



『多様性とどう向き合うか』  
一違和感から考える  
岩淵 功一/著  
岩波書店 (2025年)



『親の介護で知りたいことが全部のってる本』  
鉦 裕和/監修  
主婦の友社 (2026年)



『中高年シングル女性』 —  
ひとりで暮らすわたしたちのこと  
和田 静香/著  
岩波書店 (2025年)



『人は見た目!? ルッキズムの呪いをとく! 1  
ルッキズムって知ってる?』  
矢吹 康夫/著  
フレーベル館 (2024年)



『じょうずに頼る介護』  
一般社団法人  
リボンプロジェクト/編  
太田出版 (2025年)



『戻れないけど、生きるのだ  
男らしさのゆえ』  
清田 隆之/著  
太田出版 (2024年)



『人は見た目!? ルッキズムの呪いをとく! 3  
脱ルッキズム! ぶれない自分..』  
矢吹 康夫/著  
フレーベル館 (2025年)



【絵本】  
『おともだちほん』  
高濱 正伸/監修  
林 ユミ/絵  
日本図書センター (2026年)



『無敵化する若者たち』  
金間 大介/著  
東洋経済新報社 (2026年)



『パパの子育て応援BOOK』  
NPO法人  
ファザーリング・ジャパン/著  
パイ インターナショナル  
(2024年)



『ヒョンナムオッパへ』  
韓国フェミニズム小説集  
チョ ナムジュ 他/著  
白水社 (2020年)



『最後は誰もおひとりさまのリスク33』  
太田垣 章子/著  
ポプラ社 (2025年)



『AI時代を生き抜く人間力!  
伸び続ける子が育つお母さんの習慣』  
高濱 正伸/著  
青春出版社 (2025年)



『自治体は何のためにあるのか』  
—〈地域活性化〉を問い直す  
今井 照/著  
岩波書店 (2025年)



『クィアな時間と場所で』  
ジャック・ハリバスタム/著  
菅野 優香 他 /訳  
花伝社 (2025年)



『キャリアブレイク』  
— 一手放すことは空白ではない  
石山 恒貴 他/著  
千倉書房 (2025年)

### ソレイユさがみ 情報コーナーご利用案内

**相模原市の貸出券でご利用できます。皆さん、どうぞお立ち寄りください!!**

- ・利用時間 9:00~21:50 (ただし、17:00以降は、貸出、返却のみ)
- ・休館日 (令和8年度)《偶数月の第4月曜日》6/22、8/24、10/26、12/28、2/22  
《年未年始》12/29~1/3
- ・貸出冊数 図書: 10冊まで 2週間以内      DVD(ビデオ): 3本 2週間以内
- ・全国の男女共同参画情報誌が閲覧できます。
- ・DVD(ビデオ)は館内で視聴ができます。  
DVD(ビデオ)上映コーナーのリスト一覧からお選びください。
- ・大型絵本も17冊所蔵しています。(貸出は団体のみ) ・館内ではどなたでもご覧いただけます。



ソレイユさがみ HP